

【記載要領・一般】

投薬・使用証明書

この投薬・使用証明書は、医薬品副作用被害救済制度の給付請求のために用いられるものです。末尾の注意および欄外の(注)を読んで記入してください。

(1) 患者の氏名	○ ○ ○ ○	(2) 生年月日	<input type="checkbox"/> 明治	カルテ番号
測定日	H27 年 7 月 2 日		<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 32 年 8 月 25 日	
身長	180 cm		<input checked="" type="checkbox"/> 男 ・ <input type="checkbox"/> 女	
体重	65 kg		<input type="checkbox"/> 平成	2-122
			<input type="checkbox"/> 令和	

(3) 現住所	(〒 ○○○ - ○○○○) ※身長・体重は、(4)の医薬品を使用した時点の直近の値を記入してください。
○○県○○市○○町○○○	

(4) 使用された医薬品等(医薬品等の名称は販売名を記入して下さい) (注1)

院外 処方 (注2)	医薬品等の名称 (会社名)(注3)	規格単位 (注4)	1日 使用量 (注5)	使用方法(注5)		使用期間(注5)		使用理由
				投与(使用) 経路	1日 使用回数	開始日	終了日	
	○○○○錠 (A社)	250mg	3錠	経口	分3食後	H27.7.2	H27.7.10	鎮痛
	○○○○○錠 (B製薬)	250mg	3錠	経口	分3食後	H27.7.2	H27.7.10	筋弛緩

※医薬品等の名称は販売名(商品名)とし、(4)の医薬品を特定できるよう剤形及び規格単位を明確に記入してください。  
※使用された医薬品を具体的に特定する必要がありますので、保険薬局において先発医薬品から後発医薬品への変更等があった場合には、販売名(販売名が一般名＋屋号を含む)を確認のうえ記入してください。


※使用理由は、可能な限り具体的に記入してください。  
例えば、抗菌薬を使用した場合には、具体的な感染症名(例:咽頭炎、肺炎等)を記入してください。

※副作用によるものとみられる疾病の原因として疑われた医薬品だけでなく、それと同時期に使用されていた医薬品についても、記入してください。  
※一旦中止して再度使用した場合、漸減/漸増の場合など、同じ医薬品であっても異なる用量に変更した場合は行を分けて記入してください。  
※使用期間の開始日・終了日については処方した期間で差し支えありませんが、患者さんの実際の使用状況が異なる場合は実際に使用した日にちを記入してください。終了日が不明の場合には、最終処方日と何日分処方したか等のわかる範囲の情報を記載いただき、空欄にしないでください。


(注1) (4)の医薬品等の名称欄には、患者に投薬・使用した医薬品又は再生医療等製品(処方箋を交付した場合も含みます)について記入して下さい。

(注2) 院外処方による場合には、「院外処方」の欄に○印を記入して下さい。

(注3) 使用された医薬品等を具体的に特定する必要がありますので、一般名処方又は後発医薬品への変更可の処方箋の場合、実際に投薬された医薬品等の販売名(販売名が一般名＋屋号の場合は屋号を含む)を記入して下さい。

(注4) 医薬品等について、規格・単位を記入して下さい。

(注5) 上記医薬品等の使用が連日でなかった場合、又は漸減(増)療法によった場合には、「1日使用量」、「使用方法」及び「使用期間」の欄にその内容が分かるように記入して下さい。

(5) (4)の医薬品等を使用するに至った傷病の名称又は症状(原疾患)	変形性脊椎症	※(4)の医薬品を使用することになった原疾患名等を列記してください。
(6) (4)の医薬品等使用時の傷病であって(5)の傷病以外のもの	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (有の場合)	
(7) (5)及び(6)傷病についての薬剤以外の処置	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 1.放射線治療 <input type="checkbox"/> 2.輸血 <input type="checkbox"/> 3.手術 <input type="checkbox"/> 4.その他 ( )	

(8) (4)の医薬品等を使用するに至った経緯	
年 月 日	具体的に記入して下さい
H27.7.2	腰痛と下肢のしびれを訴え来院。脊柱のX線で椎間腔の
	狭小化、椎体辺縁隅に骨棘を認めたため、変形性脊椎症
	と診断し、保存的療法として、上記薬物療法を行なった。
(9) 備考(特記事項等を記入して下さい。)	
・過去の副作用歴・アレルギー歴 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 不明 ・ <input type="checkbox"/> 有	
[	
・特記すべき体質 <input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不明 ・ <input type="checkbox"/> 有	
[	
・喫煙	
現在： <input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 不明 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 10 本/日 )	
過去： 開始年齢 ____ 歳 中止年齢 ____ 歳 ( ____ 本/日 )	
その他特記事項 ( )	
・飲酒	
現在： <input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 不明 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (種類： 日本酒 量： 2 合 ) <input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 毎週 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 時々	
過去： 開始年齢 ____ 歳 中止年齢 ____ 歳 (種類： ____ 量： ____ ) <input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 毎週 <input type="checkbox"/> 時々	
その他特記事項 ( )	
・参考となる家族歴 <input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不明 ・ <input type="checkbox"/> 有	
[	
・既往歴 <input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 不明 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有	
[ ペニシリン内服で、発疹が出たことがある。 ]	

次の点に留意してください。  
[医薬品の使用経緯]  
※原疾患の診療経過や(4)の医薬品を選択した経緯等を記入してください。

[発現状況・症状]  
※医薬品使用後の原疾患の診療経過、副作用によるものとみられる疾病の症状の発症経過を記入してください。  
※発症年月日、入院年月日、発症時および入院時の症状(副作用発症後に受診されなかった場合には記載の必要はありません。)

※過去の副作用歴(具体的な医薬品名や症状を含む)、アレルギー歴などについて記入してください。  
※特にアレルギー疾患や自己免疫性疾患については現在の状態を含めて詳しく記入してください。

※喫煙、飲酒が「有」の場合には、その量などを記入してください。

※副作用によるものとみられる疾病の症状に関連して、医薬品投与前後の血液検査等を実施されていたら、検査結果報告書のコピー等を添付してください。

上記のとおり証明します。

令和元 年 5 月 1 日

病院又は診療所の名称	診療担当科名
〇〇病院	〇 〇 科
所在地	医師氏名
〒〇〇〇－〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇〇〇	〇 〇 〇 〇
電話番号	
〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇	

救済給付に関わる問い合わせ窓口

部署名

担当者名

※投薬・使用証明書を作成された医師以外に、同一施設内で救済給付に関わる問い合わせ窓口(医事課、薬剤部や地域連携室等)を指定される場合には、その担当者の所属・氏名・電話番号を記入してください。

- 注意
- 1 診断書を作成する医師が投薬し、又は使用した場合（処方箋を交付した場合を含みます。）には、この書類は不要です。

2 ワクチンを接種されている場合の予診票、その他参考となる資料がありましたら、備考欄にその資料名を記入し、添付して下さい。

3 記入しきれない場合には適宜別紙に記入のうえ添付して下さい。

4 パソコン等で作成された場合は、紙による提出と共に、電子ファイルをCD等の電子媒体へコピーしたものを添付して下さい。